

平成 2 3 年 度

事業報告書

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

1. 社協組織の充実と会員の拡大

「地域福祉」とは、高齢になっても障がいをもってもすべての人が、いまままで大切にしてきた家族やつながり、地域との関係の中で暮らし続けていくことができるような地域社会を作っていくことです。
この地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会にとって、事業推進においての自主財源確保は大変重要な役割を占めています。

- (1) 理事会、評議員会を開催し社協組織においての情報の共有を図り、社協組織全体での研修会を開催、地域福祉についての理解を深め事業推進に努めた。

ア. 理事会の開催

第1回 平成23年5月10日
議案第1号 社会福祉法人大口町社会福祉協議会「東日本大震災支援活動拠点運営事業」の実施について

第2回 平成23年5月20日
議案第2号 平成22年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第3号 平成22年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第4号 社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員の選任同意について

第3回 平成23年5月27日
議案第5号 社会福祉法人大口町社会福祉協議会正副会長の選任について
議案第6号 社会福祉法人大口町社会福祉協議会正副会長の職務を代理する理事の指名に
議案第7号 社会福祉法人大口町社会福祉協議会常務理事の指名について
議案第8号 社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員の任期満了に伴う選任について

第4回 平成23年8月26日
議案第9号 平成23年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)の専決処分について
議案第10号 大口社協訪問介護事業所運営規程の一部改正について
議案第11号 大口社協訪問介護(介護予防訪問介護)事業所運営規程の一部改正について

- 第5回 平成23年8月31日
議案第12号 平成23年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）について
- 第6回 平成23年10月27日
議案第13号 「第23回大口町福祉のつどい」に係る被表彰者の選考について
- 第7回 平成24年1月23日
議案第14号 平成23年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算（第3号）について
- 第8回 平成24年3月19日
議案第15号 平成24年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第16号 平成24年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について
議案第17号 大口社協訪問介護事業所運営規程の一部改正について
議案第18号 大口社協デイサービスセンター運営規程の一部改正について

イ. 評議員会の開催

- 第1回 平成23年5月27日
議案第1号 平成22年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第2号 平成22年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第3号 社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について
議案第4号 社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事及び監事の任期満了に伴う選任について
- 第2回 平成23年9月9日
議案第5号 平成23年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）の専決処分について
議案第6号 平成23年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）について
- 第3回 平成24年3月26日
議案第7号 平成23年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算（第3号）について
議案第8号 平成24年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第9号 平成24年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について

ウ. 研修会の開催

平成23年8月26日：大口町健康文化センター 1階 多目的室

内容

「東日本大震災支援活動拠点運営事業」についての研修会を開催、災害の現状と後方支援活動について大口社協が行ったボランティア支援活動を報告した。

(2) 自主財源確保と、町民ひとり一人の相互扶助推進の高揚を図ることを目的に、会員募集と会費の増収に努めた。

*会員募集／7月～8月

一般会員 500円・賛助会員 1,000円・法人会員 3,000円

ア、会員募集加入状況

*上段は平成23年度実績・下段は平成22年度

区分	加入数	金額	増減額	加入率
一般 賛助	4,898件	2,490,500円	42,500円	66%
	4,777件	2,448,000円		64%
法人	83社	579,000円	33,000円	
	84社	546,000円		
その他	町外等	10,800円	3,800円	
		7,000円		
合計		3,080,300円	79,300円	
		3,001,000円		

2. 広報・啓発活動

町民の方々に広報やホームページなどさまざまな媒体を通して社協情報を発信した。

- (1) 広報「社協だより」を年4回発行し情報提供の充実を図るとともに、「町広報」においても事業の啓発や案内を掲載し情報発信をした。

発行月 4月・7月・10月・1月

発行部数 8, 200部

- (2) ホームページにおいて社協事業を公表し、事業の利用及び参加・協力を働きかけた。
- (3) 視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページから福祉情報を発信した。
- (4) ふれあいまつり2011において「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発に努めた。

ア. 開催日時 平成23年11月5日(土) 10時～15時

イ. 場 所 大口町中央公民館駐車場

ウ. 参加者数 ボランティア団体等 12団体 124名

3. ボランティア活動の強化と拡大

ボランティアの拡大を図るとともに、行政、NPO、市民活動団体等他の機関との連携を図れるようコーディネートした。

- (1) 夏休みボランティアサークル開放を行い、広く町民の方々に活動を周知しボランティアの拡大に努めた。

ア. 開催期間と日数

期間 平成23年7月9日から8月25日

日数 19日

イ. 参加団体 9団体

- ① 要約筆記スマイル大口
- ② 高齢者疑似体験うさぎとかめ
- ③ ガイドボランティアあい♡あい
- ④ 災害救援ボランティア
- ⑤ おもちゃ病院おおぐち
- ⑥ おもちゃ図書館さくら
- ⑦ 広場もくせい
- ⑧ 手話サークルコスモス
- ⑨ 手話サークルほほえみ

(2) 養成講座を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図った。

講座名	日数	受講者数	目的
傾聴 ボランティア 養成講座	2日	12名	コミュニケーション支援を必要としている方への「傾聴」の基礎を学習し、ボランティアサークルの立ち上げなど、広く社会福祉に貢献できる人材を養成することを目的とする。
要約筆記 養成講座	10日	3名	要約筆記者を養成することにより、当該ボランティアサークルの組織体制の拡充と強化を図り「要約筆記」を広く一般に周知することにより社会全般の福祉の質を向上することを目的とする。

(3) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修会開催し、近隣市町の情報の収集と共有を図りボランティア活動の拡充に努めた。

- ア. 開催日 平成23年11月22日(火)
- イ. 場所 豊田市防災学習センター
- ウ. 参加者数 30名

(4) 「社協だより」にボランティアコーナー「ボランティア情報局」を掲載した。

(5) ボランティア登録団体への活動育成費を助成した。

- ア. 助成団体数 17団体
- イ. 助成金額 321,454円

(6) ボランティア連絡協議会定例会を年6回開催し、情報の発信とボランティア相互の交流及び共通のテーマについての取組みを支援した。

- ア. テーマ 「災害について学ぼう」
サブテーマ ～自宅外で災害が起きたら…減災を考えよう～
- 第1回 愛知県防災局による出前講座「地震にそなえて」
- 第2回 日赤愛知県支部による出前講座「災害時に知っておきたい豆知識」
- 第3回 災害救援ボランティア図上訓練「DIG」
- 第4回 豊田市防災学習センター
- 第5回 「災害について学ぼう」グループワークとまとめ

(7) ボランティア保険の加入及び事故時等の事務手続きを行った。

ア、ボランティア登録者状況

(ボランティア活動保険加入者数)

* 上段は平成 23 年度実績・下段は平成 22 年度実績

	団体数	人 数	男 性	女 性
グループ	50	1,153人	436人	717人
	49	990人	346人	644人
個人		27人	19人	8名
		3人	1人	2名
計		1,180人	455人	725人
		993人	347人	646人
増減人員		187人	108人	79人

(8) ボランティア派遣依頼の調整を行った。

ア. 派遣件数 11件

4. 児童福祉

次世代育成としての子育て支援や小中学校での福祉教室、青少年ボランティア福祉体験学習事業を実施することにより、命の大切さや「ともに生きる」力を育くみながら、福祉の課題に気づき、地域社会とのかかわり・交流の中から、地域の一員としての自覚が芽生えるよう事業を推進した。

(1) 町内小中学校と協働し福祉教室（福祉実践教室・総合学習）を実施した。

大口南小学校 3～6年 223名

- ・手話教室 ・点字教室
- ・車いす教室・盲導犬教室

大口西小学校 6年 延606名

- ・手話教室 ・点字教室
- ・車いす教室・盲導犬教室
- ・高齢者擬似体験教室

大口北小学校 3年 211名

- ・手話教室 ・車いす教室
- ・高齢者擬似体験教室
- ・盲導犬教室

大口中学校 3年 765名

- ・知的障がい者理解

(2) 子育て支援サークルに支援した。

(3) おもちゃ病院「おおぐち」の活動を支援した。

(4) 青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施した。

ア. 期間 平成23年7月25日(月)～8月5日(金)

イ. 場所 町内高齢者及び児童福祉施設等

① 大口社協デイサービスセンター

② 御桜乃里デイサービスセンター

③ 一期一会デイサービスセンター

④ 南児童センター・北児童センター・西児童センター

⑤ 南保育園・北保育園・西保育園・中保育園

⑥ 大口幼稚園・ラ・モーナ幼稚園

ウ. 参加数 延424名

(5) 赤ちゃん(満1歳未満)を対象に、親子のきずなをより深いものとし、赤ちゃんの健やかな成長を願い絵本をプレゼントした。(保健師訪問時)

ア. 配布数 218人

5. 高齢者福祉

高齢者にかかる地域課題について専門機関、福祉施設、行政、地域関係者との調整を図りながら解決に向けた取組みを展開し、さらに高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる「地域づくり」の推進や要介護者に対する支援事業の拡大に努めた。

(1) 民生委員児童委員、ボランティアの協力で80歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理配布事業を実施した。

ア. 実施日 平成23年12月30日(金)

イ. 配布数 79世帯(単身高齢者世帯59・高齢者世帯20)

(2) 町内対象者、施設入所者に対し「敬老の日」のお祝い品を贈った。

ア. 実施日 平成23年9月16日(金)

イ. 配布数

在宅 238名、施設 150名

(3) 介護者向け情報冊子「介護豆知識」を発行し、高齢者福祉協力員の協力で対象世帯に配布した。

(4) 大口町高齢者軽度生活支援事業(ホームヘルパー)を受託した。

(5) 大口町生きがい活動支援通所事業(デイサービス)を受託した。

6. 心身障がい児者福祉

障がいがあってもいきいきと暮らしやすい地域にしていくことを目指し、専門家による相談事業の充実や外出支援、参加型事業の推進に努めた。

(1) 大口市障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「第27回大口市障がい者スポーツ大会」を開催した。

- ア. 実施日 平成23年9月17日(土)
- イ. 場所 大口市中央公民館 集会室
- ウ. 参加数 295名

(2) 重度障がい者助成事業を行った。

- ア. 件数 15件

(3) 重度身体障がい者日帰り事業を開催し、外出の機会を提供した。

- ア. 実施日 平成23年10月31日(月)
- イ. 場所 滋賀県彦根と近江路
- ウ. 参加数 19名

(4) 大口市おもちゃ図書館「さくら」の活動を支援した。

(5) 障がい者能力活用支援事業「車いすシェフの料理教室」を実施した。

ア. 実施日

- ① 平成23年6月18日(土)
- ② 平成23年10月29日(土)
- ③ 平成23年12月10日(土)

- イ. 場所 大口市健康文化センター 1階 栄養実習室
- ウ. 参加数 延50名

(6) 大口市障害者等地域生活支援事業(移動支援事業)を受託した。

7. 母子父子福祉

ひとり親家庭対象の事業を実施し、生活課題や問題点について検討、相談事業の充実や教育における貸付事業の周知を図りながら、自立支援できる体制づくりを推進した。

(1) ひとり親家庭夏休み日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供した。

- ア. 開催日 平成23年8月6日(土)
- イ. 場所 大阪市ユニバーサルスタジオ・ジャパン
- ウ. 参加数 17家族 43名

- (2) 母子家庭等に対する就業支援として「就業相談日」を月1回設けた。
 (3) 母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努めた。
 (4) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈った。

ア. お祝金

- ① 小学生・中学生 3,000円
 ② 高校生 5,000円

イ. 件数

- ① 小学生 3件
 ② 中学校 9件
 ③ 高校等 10件 合計22件

- (5) 母子寡婦福祉資金等貸付制度を紹介し生活を支援した。

8. 福祉関係団体の育成・助成

町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図った。

団 体 名	金 額
身体障害者福祉協会	450,000円
心身障害児(者)親の会	110,000円
更生保護女性会	10,000円
遺族会	380,000円
母子寡婦福祉会	80,000円
保護司会	10,000円
しらゆり会大口支部 (尾北地域精神障害者家族会)	10,000円
尾北地域精神障害者家族会	20,000円
尾北地区聴覚障害者福祉協会	10,000円

9. 共同募金

共同募金運動への理解・協力を高めるため、募金の意義についての周知を図り、財源の充実と事業の拡大を進めた。

- (1) 大口町共同募金委員会運営委員会を年3回開催し、共同募金事業計画を策定しその推進を図った。
- (2) 共同募金配分金事業の推進と充実を図った。
- (3) 共同募金配分金事業を広くPRをし、協力事業所の拡大と、住民の認識を高めた。
- (4) 町内店舗、町民体育祭において協力団体による街頭募金を実施する。

ア. 街頭募金実績

内 訳	募金額
町民体育祭	32,879円
町内3店舗	28,471円
ふれあい まつり	2,191円
小 計	63,541円

- (5) 災害復興義援金の窓口を設置し募集を行う。

ア. 募金総額 11,792,942円

- (6) 募金実績

ア. 赤い羽根共同募金：期間10月1日から12月31日

*上段は平成23年度実績・下段は平成22年度実績

目標額	募金方法別実績額			増減額	達成率
3,273,000円	戸別	11区	2,549,887円	51,242円	95%
		11区	2,498,645円		
	法人	1社	30,000円	▲25,000円	
		3社	55,000円		
	街頭	3回	63,541円	125円	
		5回	63,416円		
3,113,000円	職域	27社	443,042円	115,391円	95%
		25社	327,651円		
	その他	1件	10,179円	▲412円	
		3件	10,591円		
	合計		3,096,649円	141,346円	
		2,955,303円			

イ. 歳末たすけあい募金：期間 12 月 1 日から 12 月 31 日

* 上段は平成 23 年度実績・下段は平成 22 年度実績

目標額	募金方法別実績額			増減額	達成率
158,000円	街頭	3回	74,505円	16,605円	98%
		4回	57,900円		
	職域	20社	55,100円	▲43,768円	
		18社	98,868円		
	法人	3社	25,000円	25,000円	
		0社	0円		
137,000円	その他	0件	0円	0円	114%
		0件	0円		
	合計	154,605円	▲2,163円		
		156,768円			

10. 貸付事業

他の資金の借入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方を含む世帯を対象に貸付事業を行い、償還指導として民生委員の協力をいただきながら個別訪問や相談支援を包括的に行った。

(1) 生活福祉資金貸付制度(原資:愛知県社会福祉協議会)

ア. 目的

他の資金の借入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢の方を含む世帯を対象に、安定した生活を図ることを目的とした貸付制度。

*総合支援資金

*教育支援資金

*不動産担保型生活資金

*福祉資金

イ. 貸付状況

種類	件数	貸付金額(元金)	
福祉費	3件	1,480,000円	
教育支援資金	教育支援金	10件	10,002,000円
	修学支度金	5件	1,470,000円
緊急小口資金	6件	500,000円	
離職者支援資金	1件	2,400,000円	
総合支援資金	6件	3,203,000円	
計	31件	19,055,000円	

(2) 県くらし資金（愛知県社会福祉協議会 原資 200,000 円）

件数	累計貸付金額	累計償還額	未償還額
7件	213,000円	20,000円	193,000円
9件	353,000円	160,000円	193,000円

(3) 町くらし資金（大口町社会福祉協議会 原資 2,000,000 円）

件数	累計貸付金額	累計償還額	未償還額
48件	1,502,000円	589,000円	913,000円
72件	1,858,000円	1,059,000円	799,000円

(4) 緊急一時貸付等

1 1. 相談事業

専門機関や専門知識を持つ相談員による相談窓口を開設し、日常生活の悩みごとや地域における問題解決のための相談を行った。

(1) 心配ごと相談所

第1水曜日・第3水曜日 午前10時から午後3時30分

第2水曜日 午後1時30分から午後3時30分

県母子自立支援員、県女性相談員、知的障害者相談員、身体障害者相談員

第4水曜日 午後1時30分から4時30分

高齢者や障がい者についての弁護士による法律相談

ア. 相談状況 37名（男性7名・女性30名）

相 談 内 容															合 計
生計・年金	職業生業	家族	離婚・結婚	住宅	健康・医療	精神	人権・法律	財産	児童福祉	教育・青少年	心身障がい	ひとり親家庭	高齢者福祉	苦情・その他	
5	0	10	8	1	2	4	2	0	0	1	4	6	0	3	46

(2) 総合福祉相談窓口常設

ア. 相談状況 12名(男性7名・女性5名)

件数	内容		
	相 談	金 銭 管 理	そ の 他
202	29	169	4

(3) 日常生活自立支援事業相談窓口常設

12. 貸出事業

地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援等を目的に、町民、行政区、学校、企業などを対象に各種貸出サービスを行った。

- (1) 車いす
- (2) 松葉杖
- (3) 福祉車両
- (4) 綿菓子機
- (5) ポップコーン機
- (6) 福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ)

*上段は平成23年度実績・下段は平成22年度実績

種 類		種 類	
車いす・松葉杖	135件	福祉車両	46件
	112件		26件
綿菓子・ポップコーン機	27件	福祉教材等	6件
	25件		19件
		計	214件
			182件

13. 在宅福祉サービス3事業所の経営

介護保険法や障害者自立支援法における介護サービスのほか、独自サービスや行政からの委託事業などを実施した。

- (1) 大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）
- (2) 大口社協訪問介護事業所（介護・介護予防・障害者自立支援・独自・委託事業）
- (3) 大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防・独自・委託事業）
- (4) 3事業所の実績

ア. 大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）

区 分	予 防	介護度1～2	介護度3～5	合 計
登録者数	13名	29名	26名	68名
	10名	34名	21名	65名
増 減	3名	▲5名	5名	3名
収 入	563,292円	7,695,000円		8,258,292円
	576,108円	7,164,000円		7,740,108円
増 減	▲12,816円	531,000円		518,184円

イ. 大口社協訪問介護事業所（介護・介護予防・障害者自立支援・独自・委託事業）

区 分	居宅介護等	軽度生活援助	自立支援法	合 計
登録者数	33名	5名	31名	69名
	41名	6名	24名	71名
増 減	▲8名	▲1名	7名	▲2名
収 入	17,553,625円	470,000円	8,853,206円	26,876,831円
	20,991,622円	670,000円	7,013,840円	28,675,462円
増 減	▲3,437,997円	▲200,000円	1,839,366円	▲1,798,631円

ウ. 大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防・独自・委託事業）

区 分	通所介護	生きがい活動支援	合 計
登録者数	㊦14名、㊧16名	8名	38名
	㊦11名、㊧17名	10名	38名
増 減	㊦3名、㊧▲1名	▲2名	0名
収 入	26,277,895円	1,876,500円	28,154,395円
	21,552,477円	2,501,100円	24,053,577円
増 減	4,725,418円	▲624,600円	4,100,818円

- (5) 毎月経営会議を開催し、経営強化に努めた。
- (6) 介護職員への研修会や勉強会を開催し、スキルアップやサービスの質の向上に努めた。

14. 福祉関連事業

(1) 高齢者、障がい者、子どもの交流を図り「ささえあい」のこころを育むことを目的に丹羽郡ふれあいグラウンドゴルフ大会を開催し交流を図った。

- ア. 日 時 平成23年11月12日(土) 9時30分～正午
イ. 場 所 扶桑町総合グラウンド
ウ. 参加数 198名

(2) 福祉関係者を一同に会した「大口町福祉のつどい」を開催し、福祉事業功労の顕彰や映画「パートナーズ」を上映した。

- ア. 日 時 平成23年11月19日(土) 10時～13時
イ. 場 所 大口町健康文化センター
ウ. 顕彰者

町長感謝状 2名、3団体

社会福祉協議会会長表彰状 6名

社会福祉協議会会長感謝状 4名

- エ. 参加数 130名

(3) 点字投票制度への協力を行う。

(4) 東日本大震災復興支援事業を実施した。

ア. 東日本大震災復興支援ボランティア活動拠点運営事業

- ① 内 容 岩手県の被災地への後方支援活動を行っている遠野市に職員を常駐させ活動拠点を設け「遠野まごころネット」を経由し丹羽在住在勤のボランティアを継続的に現地に派遣した。
② 派遣数 延284名
③ 期 間 平成23年6月1日～6月30日

イ. 東日本大震災復興支援ボランティアバスの運行

- ① 内 容 岩手県「遠野まごころネット」を経由し被災地沿岸への丹羽在住在勤のボランティアを派遣した。
② 参加数 26名
③ 期 間 平成23年9月25日～28日

ウ. 「みんなの力で被災地に元気を！」

- ① 内 容 丹羽在住在勤家族の小学校5年生から高校3年生までの児童・生徒を対象に桜の植樹と仮設住宅で被災者との交流会を企画実施した。

② 参加数 36名

③ 期間 平成24年3月27日～30日

エ. 東北物産展及び遠野まごころネットグッズ販売

① 内容 ふれあいまつり2011「ふくしわくわくランド」内において丹羽ライオンズ、遠野まごころネットの協力により東北物産展を開催した。

② 実施日 平成23年11月5日(土)

③ 場所 大口町中央公民館駐車場